

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 国道・技術課

担当課長名: 西川 昌宏

事業名	地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道178号 浜坂道路Ⅱ期	事業区分	一般国道	事業主体	兵庫県
起終点	自: 兵庫県美方郡新温泉町栃谷 至: 兵庫県美方郡新温泉町居組			延長	7.6km
事業概要					
<p>山陰近畿自動車道(鳥取豊岡宮津自動車道)は、鳥取県鳥取市から京都府宮津市を結び、鳥取東部、但馬、京都北部の各地方生活圏を連絡し、地域の交流・連携の促進と安全・安心の向上を図る延長約120kmの地域高規格道路である。</p> <p>国道178号浜坂道路Ⅱ期は、山陰近畿自動車道の一部区間を構成する7.6kmの道路であり、兵庫県美方郡新温泉町栃谷から同町居組における、国道178号の異常気象時通行規制区間や浸水想定区域を回避することで、災害に強い道路機能の確保等を目的とした事業である。</p>					
H30年度事業化		都市計画決定 ー		R1年度用地着手	
R1年度工事着手		R1年度用地着手		R1年度工事着手	
全体事業費	約750億円	事業進捗率	約58%	供用済延長	ー km
計画交通量	7,800台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	1.6(0.7)		1,754/6,846億円	1,042/10,811億円	
	(参考) 2.0(1.1) [2%]	6.8(2.3)%	事業費: 1,688/6,551億円	走行時間短縮便益: 938/9,479億円	令和7年
	2.4(1.4) [1%]		維持管理費: 66/221億円	走行経費減少便益: 91/1,122億円	
	(残事業)	(残事業)	更新費: -/73億円	交通事故減少便益: 13/210億円	
0.6(1.7)		感度分析 (事業全体)	(残事業)		
(参考) 0.8(2.5) [2%]	1.2(7.4)%	交通量 B/C=1.4~1.7(±10%)	交通量 B/C=0.5~0.7(±10%)		
1.05(3.2) [1%]		事業費 B/C=1.5~1.6(±10%)	事業費 B/C=0.5~0.7(±10%)		
		事業期間 B/C=1.6~1.6(±20%)	事業期間 B/C=0.6~0.6(±20%)		
事業の効果等					
<p>①高速道路ネットワークの形成 日本海側の高速道路網の未整備区間を解消し、北近畿豊岡自動車道と鳥取自動車道のダブルネットワークの形成により、大規模災害発生時の緊急支援物資の輸送ルート確保や災害復旧の迅速化など、災害に強い日本海国土軸を形成する。</p> <p>②広域観光交流圏の拡充・強化 山陰海岸ジオパークをはじめとする多様な観光拠点・観光資源へのアクセスを向上させることにより、広域観光交流圏を拡充・強化し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>③地域の安全・安心の向上 本道路の整備により、鳥取県立中央病院(3次救急医療病院)へのアクセス性の向上を図り、地域の医療環境の向上を図る。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・新温泉町長や新温泉町山陰近畿自動車道整備推進協議会から、本事業の早期完成の要望が行われている。 ・沿線自治体で構成される「北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道早期実現促進大会実行委員会」が、毎年整備の要望書提出、促進大会を実施している。 ・京都府知事、兵庫県知事、鳥取県知事で構成される「山陰近畿自動車道整備推進協議会」が、毎年整備の要望書提出、促進大会を実施している。 ・沿線自治体で構成される「但馬自治会」から、本事業の早期完成の要望が行われている。 ・新温泉町が運営する残土処分場で、発生する残土を受け入れることが可能である。 <p>以上より、地元の関心が非常に高く、早期整備の要望が強い事業である。</p>					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続妥当(兵庫県公共事業等審査会 令和7年11月5日)					

